

## 【 ウイナーズカップ・リーグ競技規定 2018 】

【1】 代表者会議で説明又は決められた事項はチーム全員に周知させること。

【2】 特に定められた以外は2018年度公認野球規則及び全軟連競技者必携に準じる  
【注】 グラウンドルールを必要とする会場は、立会いチーム・審判員協議の上で適用す

### 【3】 試合方法

(1) 7回戦で行い、試合時間は90分とする。

① 80分以降新しいイニングに入らない。(新しいイニングに入っても90分になったら試合を止める)  
90分到達時に勝敗が決しない場合は前のイニングに遡り勝敗を決する。

② 4回以降、得点差7点以上はコールドゲームとする。

③ 降雨のため試合続行不可能のときは4回以降コールドゲームを適用する。

④ 上記④の条件に満たないときは、ノーゲームとし後日再試合を行う。

(2) 予選リーグ戦適用事項

① 勝点順位制とし(勝ち3点・引分け1点・不戦敗▲1点)A・B・Cブロック上位3チームの計9チーム、  
D・Eブロック上位1チームと2位上位1チームの計3チーム 合計12チームで決勝トーナメントを行う。

② ①の勝点が同点の場合、直接対戦の勝者チームを上位とする。

③ ②が引分け若しくは対象が3チーム以上の場合、得点率にて上位を決める。

④ その計算方法は、争っている対象のチームとの試合のみとしそれ以外のチームとの試合は計算に入れないこととする。

⑤ ④でも決しない場合、抽選とする。

(3) 決勝トーナメント適用事項

① 試合時間内に勝敗が決しない場合、全軟連特別規則2-延長戦2-(2)・(3)を適用する。

【注】1 準決勝まで延長戦2、(2)を1イニング行い、勝敗が決しない場合(3)を適用する。

【注】2 決勝戦は(2)にて勝敗を決する。

② 得点の記録は全軟連特別規則2-延長戦2-(1)-①・②を適用する。

【注】決勝戦は全軟連特別規則2-延長戦2-(1)-②を適用しない。

なお、年度によって会場確保の関係で細則が変更する場合あり。その際はHPIにて告知。

③ 決勝トーナメント出場チームは、1回戦開始前日までに選手登録の変更・追加ができます。

### 【4】 試合の有無

(1) 天候等による試合の順延・変更は試合当日に決定する。

【注】第1試合の選手・審判員は天候にかかわらず30分前に集合の事。

(2) 試合の順延・変更の決定権は試合の当事者4チームと同席している実行委員が有する。

(3) 試合の順延・変更の確認(第2試合以降)は各チームにてホームページ連絡掲示板にて確認の事。

(4) 試合の有無について試合会場への問い合わせは一切厳禁する。

- (5) 試合中止の場合、当該試合の開催期日・会場はホームページ連絡掲示板にて確認の事。
- (6) 試合日程の賛否は大会事務局に2週間前に連絡の事(厳守)。  
但し、事務局は試合の組替えは行わない。

## 【5】 試合球

- (1) 全軟連公認ナガセケンコーM号ボールとする。
- (2) 試合球は各チームよりニューボール2個(雨天時3個)を試合当日提出する。

## 【6】 用具

- (1) バットは全軟連公認(J. S. B. B)のマーク入りであること。(ビヨンド等は使用可)
- (2) グランド内で素振り用バット(マスコットバットを含む)の使用は許されるがグラウンド内の地面に置くことは許されない。
- (3) 捕手は危険防止のため必ず全軟連公認マスク・ヘルメット・レガース・プロテクター・ファウルカップ着用の事。
- (4) 打者・走者・ベースコーチ等のヘルメット着用が望ましい。

【注】新潟市内選手権は着用が義務となります。

## 【7】 抗議権・タイムの要求

- (1) 抗議できるのは、監督、主将、プレイヤーのうち1名とする。但し、規則適用上の問題に限る。  
全軟連競技者必携 競技に関する連盟特別規則5参照
- (2) タイムはプレイヤーの要求したときではなく審判員の認めたときである。
- (3) 守備側からのタイムで試合が停止されたときは、その間投手は捕手を相手に  
投球練習することは許されない。

## 【8】 選手登録

- (1) 選手登録されたもの以外は、試合に出場できない。

【特例】球審と対戦チームの同意があれば、当日欠員(選手8名)の場合1名に限り認める。

- (2) 選手登録されていてもメンバー表交換の際、記載のない選手は試合に出場できない。
- (3) 選手登録の変更時期は以下とする。

春季代表者会議～開会式当日まで

【特例】連盟会長に書面をもつての許諾に限り、6月末日まで認める。

【注】ホームページより書類を送付し大会実行委員長の許諾を受けることが厳守。

- (4) DH制を採用する。採用の通知はオーダー交換時に行い、DH制を採用した場合は試合終了まで10人で攻撃すること。

## 【9】 審判委員

- (1) 審判員・手伝いの役割分担
  - ① 各試合の前後チームより選出(第1試合 ←→ 第2試合・第3試合 ←→ 第4試合)とし  
各チーム3名選出 計6名にて行う。
  - ② 1塁側チームは球審・ボールボーイ兼スコアラー。3塁側チームは塁審を務める。

- (2) 審判委員は試合前、両チームよりボールの提出を受ける・先後攻の決定及びメンバー表の登録名簿確認・必要に応じて水撒きを行うこと。
- (3) 最終試合の球審を務めたチームは、実行委員までに試合結果を報告する義務を負います。

#### 【10】不戦敗規定・罰則

- (1) 試合成立人数(9名)未達。
- (2) 審判員不在(3名以下)
- (3) 試合日2週間前～試合日未連絡不出場。
- (4) 試合開始時間遅れ。(5分前集合をかけ、試合開始の宣告)
- (5) (2)・(3)・(4)に該当したチームは5,000円の罰金、次期試合出場停止(1試合) 実行委員指定試合の審判委員(6名)を段階的に科す。

#### 【11】規定変更

- (1) 規定変更は、代表者会議の2/3出席(委任を含む)と1/2以上の同意により決定する。  
【注】実行委員改選も含む。

### 【 競技規定 内規 2018 】

#### ☆ 大会参加義務事項

##### 1 帽子・ユニフォームの着用、背番号貼付

- (1) 未着の場合、不戦敗も認められる。

【注】審判委員は当該チームの責任者に改善を求めること。

- (2) ポイント式スパイクの使用を奨励する。
- (3) 参加選手の背番号の内、監督30番・主将10番にすることを推奨する。

【注】新潟市内選手権は着用が義務となります。

##### 2 試合における申告事項はメンバー表交換の際に必ず伝達し、了承を得る。

【注】球審・相手チーム代表者。

##### 3 ストライク、ボール、アウト、セーフ、フェア、ファールなどの判定に対する抗議、相手チームや審判員に対する野次は厳禁する。

##### 4 試合会場

- (1) 使用に際しては、実行委員の指示に従う。
- (2) 試合時には、ゴミは持ち帰ること。
- (3) 煙草は灰皿のある場所以外では吸わないこと。【注】ベンチ内禁煙。
- (4) グラウンド以外では、スパイクを履かないこと。
- (5) 最終ゲームのチームはグラウンド・ベンチの後片付けを行うこと。

(6) 各会場における駐車場では、地域住民の迷惑にならないよう十分に注意する。

(7) 大会本部には連盟役員・実行委員・代表者以外は立入り禁止とする。

- 5 安全面から救急箱の携帯を奨励する。また、万一の事故に備えて各チームでスポーツ保険に加入することを奨励する。

【注】大会中の事故及び負傷については各チームにおいて処理すること。実行委員会は  
その責に応じない。

## 6 審判委員

(1) 参加チームより審判委員を最低2名登録のこと(連盟審判部登録者扱い)

(2) 各試合の主審は審判部登録者限定とする。

【注】審判講習会受講者以外は認めません。

(3) 塁審の服装は帽子・グラコン(又はジャンパー)若しくはユニフォームの上着を脱ぐこと。

(4) 運動靴若しくは審判靴を着用すること。

(5) 球審の服装は上着は統一のポロシャツ、ズボンはユニフォーム若しくは黒か紺のズボンを着用すること。

## 7 特別事項

(1) 責任当番制

①第1試合&第3試合の1塁側が務める。

②第1試合の1塁側 担当事項

A 審判道具の用意・試合会場の鍵の受け取り、開錠

B 天候等による試合中止の場合、掲示板への告知と実行委員会への連絡

③第3試合の1塁側 担当事項

A 審判道具の返却および次の責任当番チームへの返却完了連絡

B 試合終了後のゴミ・忘れ物の確認と施錠後返却

C 試合結果の報告(mail@winners-cup.com)

【注】審判道具の倉庫への返却完了時は速やかに次チーム担当者へ連絡すること。

(2) 大会運営の協力

運営にあたり参加チームには以下の協力をお願いします。

①チームより役員1名を選出する(個人協力)

②チーム単位で協力できる役割を持ち回りで行う(チーム協力)

③上記①、②のどちらかを選択してください。

1995.03.30 作成

1996-2002.03.30 各年同日一部改定

2004.03.30 全面改訂・内規作成

2009.04.04 一部改定

2010.04.16 一部改定

2012.03.30 一部改定

2014.02.28 一部改定

【作成・改定責任者】

1995-1997 佐久間忠行

1998-2002 伊藤忠一

2004 佐藤豊明

2009-2010 田辺暁之

2012 佐久間忠行

2014 齋藤朋広